

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 株式会社 よみうりランド  
 コード番号 9671 URL <http://www.yomiuriland.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 達雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部担当 (氏名) 小林 利光  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 東

TEL 044-966-1134

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,592	—	693	—	760	—	443	—
20年3月期第1四半期	3,526	△3.8	547	△7.3	611	△6.8	380	△11.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	5.48	—
20年3月期第1四半期	4.69	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	53,770	—	17,094	—	31.8	—	210.96	
20年3月期	55,249	—	17,162	—	31.1	—	211.80	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 17,086百万円 20年3月期 17,155百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	7,471	—	1,250	—	1,310	—	740	—	9.14
通期	13,991	0.0	1,769	△9.9	1,865	△9.6	1,037	△9.7	12.80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	83,522,024株	20年3月期	83,522,024株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	2,527,203株	20年3月期	2,523,333株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	80,996,818株	20年3月期第1四半期	81,183,497株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 を参照ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油・原材料価格の高騰や米国経済の低迷などが企業収益を圧迫し、景気の減速感が強まり、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループの関連する業界におきましても、生活必需品の相次ぐ値上げ等からくる個人消費の停滞が悪影響を及ぼし始めるなど、厳しい状況で推移しております。

公営競技部門の川崎競馬は、前年度末に新設したファン休憩所、キッズルームなどが本場のファンサービスに貢献しました。また、6月の重賞「関東オークス」には、JRAから珍しい白毛馬が参戦し、勝利するなど話題を集めました。その結果、開催日数が2日増だったこともあり、投票券総売上高は増加しました。船橋競馬は、4月にリニューアルオープンした特別観覧席が利用者から高い評価を得ました。5月5日には、恒例のビッグレース「かしわ記念」が行われ盛り上がりを見せましたが、他の開催日は総じて低調な結果となりました。しかしながら、在宅投票などが引き続き伸長したことにより、投票券総売上高は増加しました。船橋オートレースは、期待されたゴールデンウィーク開催などが天候に恵まれず、また前年同期と比較して開催日数が4日減だったこともあり、投票券総売上高は減少しました。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、特色ある自主コンペの開催などで集客を図りましたが、悪天候によるキャンセルが影響し、入場者は減少しました。よみうりゴルフ倶楽部は、法人会員制30周年記念企画やポイントラリーコンペの実施により来場者の確保に努めましたが、東京よみうり同様、悪天候によるキャンセルが多発し、入場者は減少しました。静岡よみうりカントリークラブは、ゴルフ愛好会会員の利用や各種ポイントカードによるサービスの実施が引き続き好調に推移し、入場者は前年並みを確保しました。千葉よみうりカントリークラブは、パブリック選手権予選競技開催などの営業施策を継続しましたが、雨量が3倍近くに増加するなど例年のない悪天候の影響で入場者は減少しました。

遊園地部門の遊園地は、ゴールデンウィークに実施した世界の屋台村が好評を博しました。企業などの団体利用は引き続き好調だったものの、ファミリー層の利用が減少したことや、土日を中心として天候不順であったことが影響し、入園者は減少しました。ゴルフガーデン（練習場）は、引き続きスクールなどが好調に推移し入場者は増加しました。温浴施設「よみうりランド丘の湯」は、遊園地をはじめ周辺施設との連携により集客を図ったものの、引き続き近隣競合施設の影響を受け、入場者は減少しました。

販売部門は、入場者の減少した施設がそれぞれ低調な結果となりました。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は、30億7千6百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

また、不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が増加したことにより、3億9千5百万円（前年同期比8.0%増）となり、建設事業の売上高は、大規模工事の受注がなかったことにより、3億2千8百万円（前年同期比16.9%減）となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、35億9千2百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は6億9千3百万円（同26.7%増）、経常利益は7億6千万円（同24.4%増）、四半期純利益は4億4千3百万円（同16.5%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は前連結会計年度末に比べ14億7千9百万円減少し、537億7千万円となりました。これは、前連結会計年度末の未払金の支払等により現金及び預金が9

億7千8百万円減少したことや、保有株式の時価評価額の減少により投資有価証券が5億2千万円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期末における負債は前連結会計年度末に比べ14億1千万円減少し、366億7千5百万円となりました。これは、返済に伴い長期借入金が2億7千3百万円減少したことや、保有株式の時価評価額の減少等により繰延税金負債が1億9千8百万円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期末における純資産は前連結会計年度末に比べ6千8百万円減少し、170億9千4百万円となりました。これは、四半期純利益が4億4千3百万円であったものの、その他有価証券評価差額金が3億8百万円減少したことや、期末配当により利益剰余金が2億2百万円減少したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の31.1%から31.8%となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期の業績がおおむね計画通り推移しており、平成20年5月14日発表の数値から変更はございません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更による損益への影響はありません。

③所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに

伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更による損益への影響はありません。

(追加情報)

平成20年度の法人税法改正に伴う「機械及び装置」についての法定耐用年数変更により、当第1四半期連結会計期間から、機械設備についての耐用年数を変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,596,923	6,575,900
受取手形及び売掛金	1,145,741	988,811
たな卸資産	385,051	358,960
繰延税金資産	90,873	125,578
その他	105,249	84,064
貸倒引当金	△ 734	△ 693
流動資産合計	7,323,103	8,132,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,041,282	18,281,780
土地	17,395,553	17,393,432
建設仮勘定	860,270	860,270
その他（純額）	969,464	904,896
有形固定資産合計	37,266,570	37,440,378
無形固定資産		
その他	80,159	76,728
無形固定資産合計	80,159	76,728
投資その他の資産		
投資有価証券	8,225,343	8,745,685
繰延税金資産	549,409	550,287
その他	325,470	303,542
投資その他の資産合計	9,100,222	9,599,515
固定資産合計	46,446,952	47,116,623
資産合計	53,770,056	55,249,244

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	222,776	355,803
短期借入金	3,100,000	3,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,095,200	1,095,200
未払法人税等	228,837	404,313
賞与引当金	28,604	113,961
その他	1,180,616	1,393,877
流動負債合計	5,856,035	6,463,156
固定負債		
長期借入金	1,767,300	2,041,100
繰延税金負債	1,343,165	1,541,277
退職給付引当金	543,891	551,546
役員退職慰労引当金	96,427	128,295
長期預り金	24,339,390	24,460,467
匿名組合預り金	2,726,012	2,900,294
その他	3,714	417
固定負債合計	30,819,902	31,623,398
負債合計	36,675,938	38,086,555
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,731,401	4,731,443
利益剰余金	5,873,654	5,632,329
自己株式	△ 1,039,993	△ 1,038,666
株主資本合計	15,618,093	15,378,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,468,467	1,777,032
評価・換算差額等合計	1,468,467	1,777,032
少数株主持分	7,557	7,518
純資産合計	17,094,117	17,162,688
負債純資産合計	53,770,056	55,249,244

（2）【四半期連結損益計算書】

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）
売上高	3,592,263
売上原価	2,517,562
売上総利益	1,074,700
販売費及び一般管理費	381,604
営業利益	693,095
営業外収益	
受取利息	411
受取配当金	72,361
その他	18,097
営業外収益合計	90,870
営業外費用	
支払利息	23,197
その他	400
営業外費用合計	23,597
経常利益	760,368
特別利益	
固定資産売却益	3,348
特別利益合計	3,348
特別損失	
固定資産除却損	45,199
固定資産売却損	135
特別損失合計	45,334
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	718,382
匿名組合損益分配額	22,508
税金等調整前四半期純利益	695,873
法人税、住民税及び事業税	202,765
法人税等調整額	49,248
法人税等合計	252,013
少数株主利益	38
四半期純利益	443,821

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	695,873
減価償却費	423,564
固定資産売却損益 (△は益)	△ 3,213
固定資産除却損	16,555
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	40
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 85,357
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 7,655
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△ 31,868
受取利息及び受取配当金	△ 72,772
支払利息	23,197
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 156,930
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 26,090
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,934
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 133,026
長期預り金の増減額 (△は減少)	△ 121,076
匿名組合預り金の増減額 (△は減少)	△ 174,281
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	212,543
小計	561,436
利息及び配当金の受取額	72,772
利息の支払額	△ 23,287
法人税等の支払額	△ 369,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>241,780</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	△ 64
固定資産の取得による支出	△ 741,155
固定資産の売却による収入	4,827
その他	△ 48,866
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 785,259</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△ 273,800
自己株式の取得による支出	△ 1,712
自己株式の売却による収入	343
配当金の支払額	△ 160,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 435,562</u>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>△ 979,041</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>6,485,626</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>5,506,584</u>



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	総合レジャー 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	建設事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,074,567	395,535	122,160	3,592,263	—	3,592,263
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,815	450	206,382	208,647	(208,647)	—
計	3,076,382	395,985	328,543	3,800,911	(208,647)	3,592,263
営業利益	747,524	253,865	31,034	1,032,424	(339,328)	693,095

(注) 1 事業区分は日本標準産業分類を参考にし、各事業の営業内容の類似性により区分しております。

2 各事業の主な内容

- (1) 総合レジャー事業 競技場、ゴルフ場、遊園地等の運営
- (2) 不動産事業 不動産の売買、賃貸
- (3) 建設事業 建設業

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)  
該当事項はありません。

「参考資料」

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 平成20年3月期 第1四半期
	金 額
I 売上高	3,526
II 売上原価	2,609
売上総利益	916
III 販売費及び一般管理費	369
営業利益	547
IV 営業外収益	90
1 受取利息	0
2 受取配当金	62
3 事業保険差益	17
4 雑益	9
V 営業外費用	26
1 支払利息	26
2 雑損	0
経常利益	611
VI 特別利益	4
1 固定資産売却益	4
2 貸倒引当金戻入額	0
VII 特別損失	12
1 固定資産除却損	12
匿名組合損益分配前税金等 調整前四半期純利益	602
匿名組合損益分配額	13
税金等調整前四半期純利益	588
法人税、住民税及び事業税	91
法人税等調整額	116
少数株主利益	0
四半期純利益	380

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 平成20年3月期 第1四半期
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	588
2 減価償却費	437
3 固定資産売却益	△4
4 固定資産除却損	2
5 貸倒引当金の増減額	△0
6 賞与引当金の増減額	△92
7 退職給付引当金の増減額	△50
8 役員退職慰労引当金の増減額	△4
9 受取利息及び受取配当金	△63
10 支払利息	26
11 その他	0
12 売上債権の増減額	50
13 たな卸資産の増減額	△5
14 その他の流動資産の増減額	△4
15 仕入債務の増減額	△226
16 長期預り金の増減額	26
17 匿名組合預り金の増減額	△181
18 その他の流動負債の増減額	△50
小計	448
19 利息及び配当金の受取額	63
20 利息の支払額	△27
21 法人税等の支払額	△295
営業活動によるキャッシュ・フロー	188
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の増減額	△0
2 固定資産の取得による支出	△210
3 固定資産の売却による収入	4
4 その他の投資の増減額	51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 長期借入金の返済による支出	△273
2 自己株式の取得による支出	△4
3 自己株式の売却による収入	0
4 配当金の支払額	△168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446
IV 現金及び現金同等物の増減額	△413
V 現金及び現金同等物の期首残高	5,795
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	5,381

（3）セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期（平成20年3月期 第1四半期）

（単位：百万円）

	総合レジャー 事業	不動産事業	建設事業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,046	366	113	3,526	—	3,526
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	281	284	(284)	—
計	3,048	366	395	3,810	(284)	3,526
営業費用	2,394	149	389	2,933	45	2,979
営業利益	654	217	5	877	(330)	547